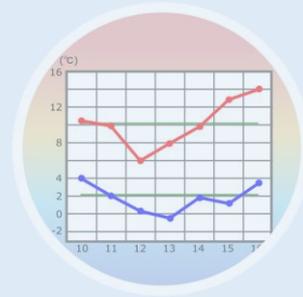




気象庁ホームページに 掲載されている気象の情報について



気象庁ホームページに掲載されている気象の情報について

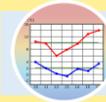
<普段の生活で役立つ情報>



天気予報



天気分布予報



地域時系列予報



雨雲の動き



今後の雨



紫外線情報



熱中症警戒アラート



ここではこれら気象に関する情報を分かりやすく解説します

<大雨時に活用できる情報>



早期注意情報（警報級の可能性）



気象情報（全般・地方・府県）



台風情報



警報・注意報（今後の推移）



大雨警報（浸水害）・注意報



土砂災害警戒情報
大雨警報（土砂災害）・注意報



洪水警報・注意報



指定河川洪水予報



キキクル（危険度分布）



線状降水帯に関する情報



明後日までの詳細な天気予報と、1週間先までの天気予報を確認できる

静岡県天気予報 (明後日までの詳細)										
2022年06月19日17時 静岡地方気象台 発表										
日付	今夜 19日(日)				明日 20日(月)				明後日 21日(火)	
中部	天気									
		晴れ 夜 くもり 所により 夜のはじめ頃まで 雨				晴れ 朝晩 くもり 所により 夜遅く 雨				くもり
	風	南西の風 後 西の風 海上 では 南西の風 やや強く				西の風 日中 南西の風 海上 では 南西の風 やや強く				西の風 後 南西の風
	波	1. 5メートル				1. 5メートル				1. 5メートル
	降水確率(%)	00-06	06-12	12-18	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	
	-	-	-	10	0	0	10	20		
気温 (°C)	朝の最低		日中の最高		朝の最低		日中の最高			
	静岡		-		21		29			



19日や20日は雨マークはないのに所により雨が降るみたいだから傘を持っていこう。予報文を読んでおいてよかった。

静岡県天気予報 (7日先まで)								
2022年06月19日17時 静岡地方気象台 発表								
日付	今夜 19日(日)	明日 20日(月)	明後日 21日(火)	22日(水)	23日(木)	24日(金)	25日(土)	26日(日)
静岡県								
降水確率(%)	-/-/10	0/0/10/20	40	50	40	30	30	30
信頼度	-	-	-	C	C	C	B	A
			27	28	28	29	30	30
			(25~29)	(26~30)	(26~30)	(27~32)	(28~33)	(28~33)
			22	22	23	23	23	24
			(21~24)	(21~24)	(21~24)	(21~25)	(22~25)	(21~25)

括弧内は気温の予測範囲を示しています。実況の気温がこの範囲に入る確率はおよそ80%です。



週間天気予報には「信頼度」というのがあるんだ。特に信頼度が低い日はこれから予報が変わる可能性が他の日よりも高いから、いつもよりこまめに天気予報をチェックしないと。

- 【信頼度】A…降水有無の適中率：平均88%、翌日に降水有無の予報が変わる割合：平均1%
- B…降水有無の適中率：平均73%、翌日に降水有無の予報が変わる割合：平均6%
- C…降水有無の適中率：平均58%、翌日に降水有無の予報が変わる割合：平均16%

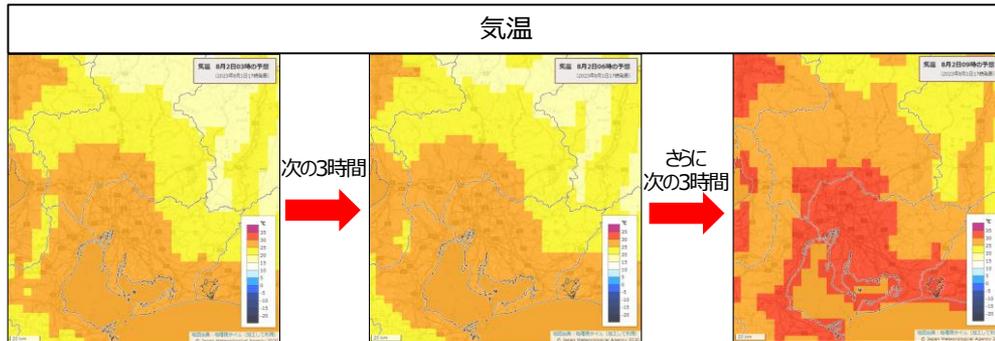
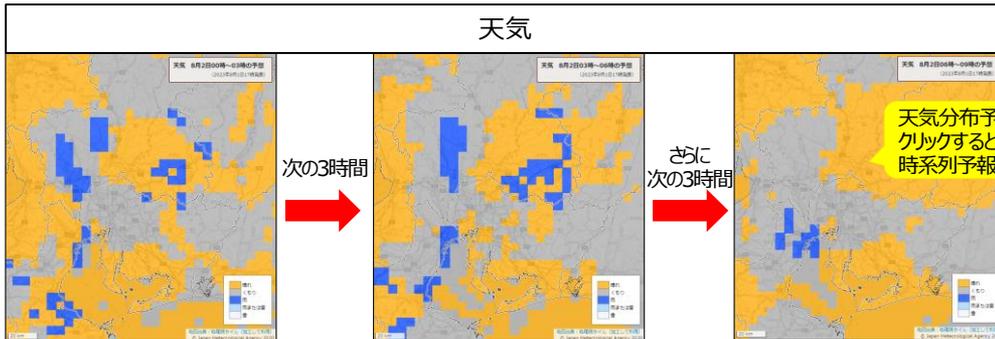
※検証結果は、2014年12月までの5年間のデータによる。



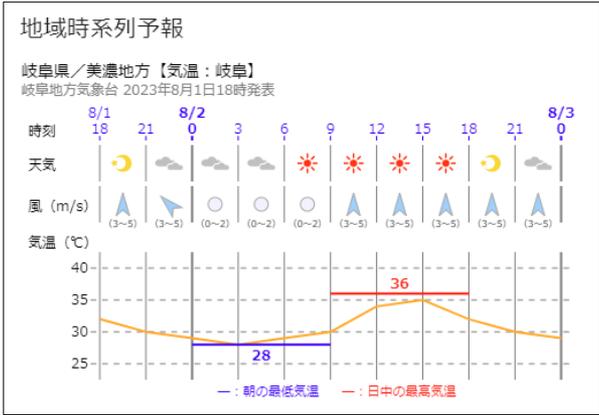
天気マークだけではなく予報文も読んでおくことで、予想外の雨にあうことが減ります。また、週間天気予報の信頼度を見ておくことで、週末の予定を立てるときなどの参考にもなります。



今日から明日にかけての3時間ごとの天気、気温、降水量等を面的に確認できる



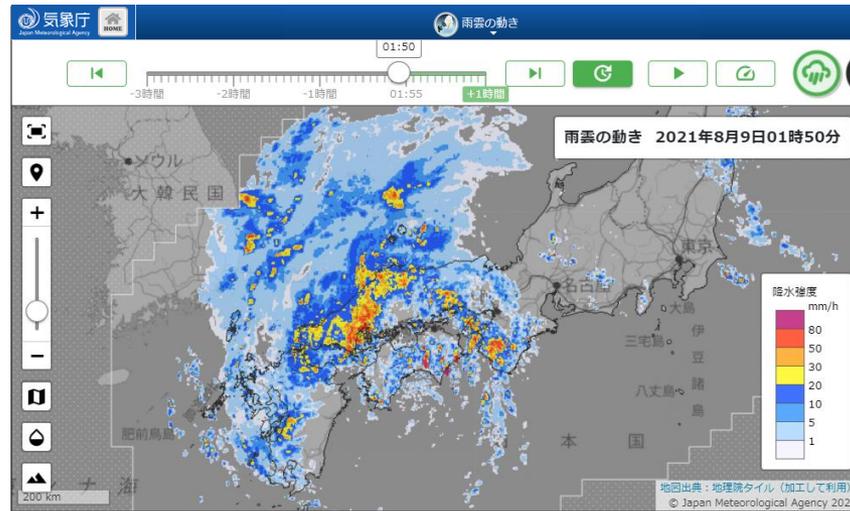
今日から明日にかけての天気、風、気温を3時間ごとに時系列で確認できる



3時間ごとの天気や気温の変化が地域ごとに分かるので、外出する際などにも活用できます。



1時間先までの5分毎の雨の予測が確認できる



現在の雨の降り方に加え、自分が今いる場所に目先雨雲が近づいてきているのかなどを確認できます。

雷の活動度や落雷があった場所、竜巻の発生可能性の程度なども確認できる

「雨雲の動き」のページでタブを切り替えることで確認できます。



雨雲の動き

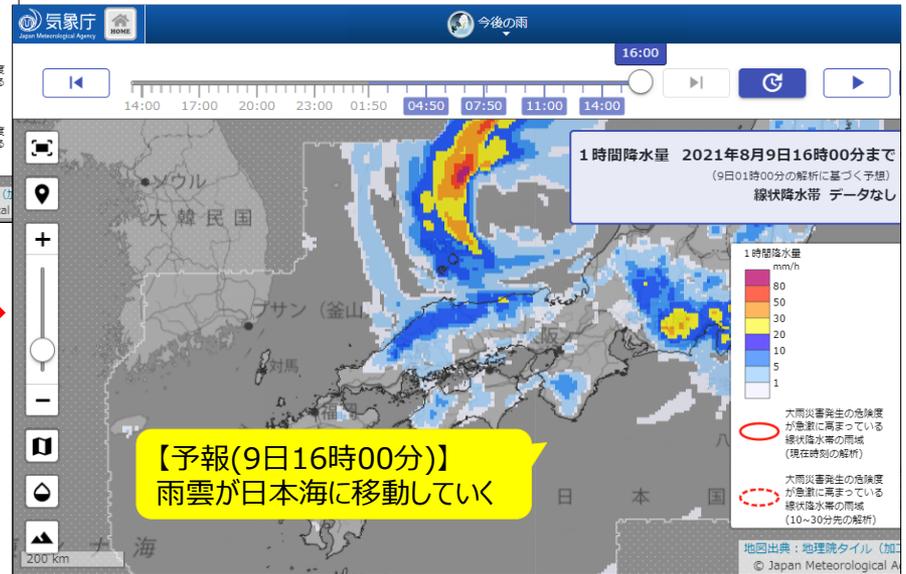
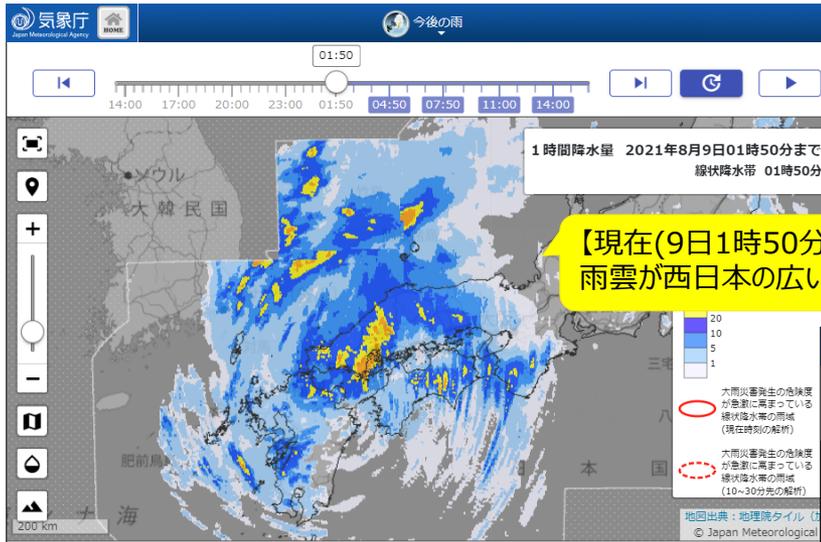
雷

竜巻





15時間先までの1時間ごとの雨の予測が確認できる

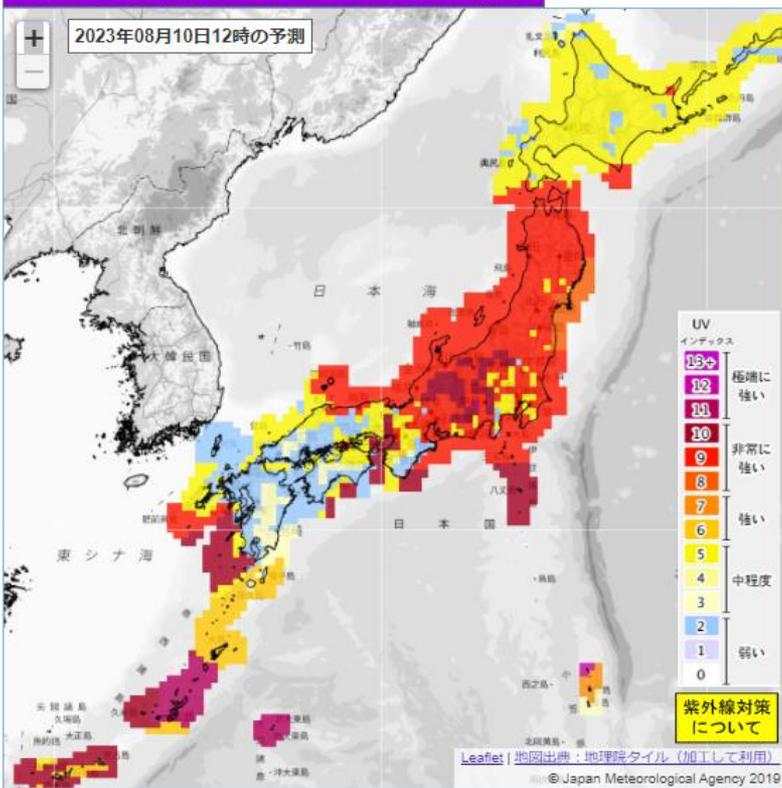


例えば、暗くなる前の夕方のうちに夜間から翌日明け方の大雨の動向を確認し、早めの避難行動や災害対策に役立てることができます（3時間や24時間に降った雨の量や範囲も確認できます）。外出や屋外での作業前に雨の有無を知りたいときなど、日常生活でも利用することができます。

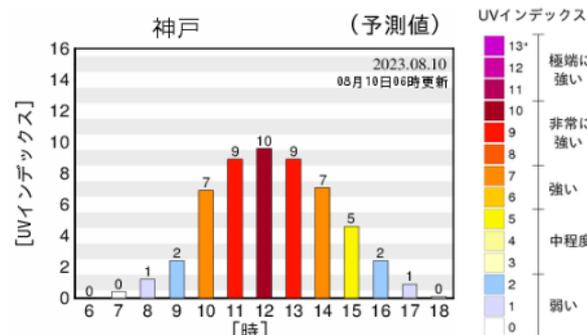


今日または明日の紫外線の強さが確認できる

紫外線の予測分布図：2023年08月10日06時発表



地図を拡大して表示される「●」をクリックすると、当該地点の紫外線の強さの時間変化を確認できます。



UVインデックスに応じた紫外線対策

UVインデックスとは紫外線が人体に及ぼす影響の度合いをわかりやすく示すために、紫外線の強さを指標化したものです。

- 11+** 極端に強い → 日中の外出は出来るだけ控えよう。必ず長袖シャツ、日焼け止め、帽子を利用しよう。
- 8~10** 非常に強い → 日中は出来るだけ日陰を利用しよう。出来るだけ長袖シャツ、日焼け止め、帽子を利用しよう。
- 6~7** 強い
- 3~5** 中程度
- 1~2** 弱い → 安心して戸外で過ごせます。

(WHO: Global solar UV index-A practical guide-2002)



日焼け止めを塗ったほうが良いかどうか、帽子を被ったほうが良いかどうかなどの参考にすることもできます。



熱中症の危険性が極めて高い環境になるか前日夕方か当日早朝に確認できる



※例年4月下旬から10月下旬にかけてのみ運用しています。



暑さ指数は、気温、湿度、日射量などをもとに算出する熱中症予防の指数です。暑さ指数に応じた熱中症予防の行動については、環境省熱中症予防行動サイト等をご参照ください。



熱中症警戒アラート発表時の予防行動例

① エアコンを適切に使用しましょう



● 昼夜問わずエアコン等を使用して温度調節をしましょう。

② 熱中症のリスクが高い方に声かけをしましょう



● 高齢者、子ども、持病のある方、肥満の方、障害者等は熱中症になりやすい方々です。これらの熱中症のリスクが高い方には、身近な方から、夜間を含むエアコンの使用やこまめな水分補給等を行うよう、声をかけましょう。

③ 普段以上に「熱中症予防行動」を実践しましょう



● のどが渇く前にこまめに水分補給しましょう。
(1日あたり1.2リットルが目安)

● 屋外で人と十分な距離 (2メートル以上) を確保できる場合は適宜マスクをはずしましょう。

● 涼しい服装にしましょう。

④ 外出はできるだけ控え、暑さを避けましょう



● 熱中症を予防するためには暑さを避けることが最も重要です。

● 不要不急の外出はできるだけ避けましょう。

⑤ 外での運動は、原則、中止／延期をしましょう



● 身の回りの暑さ指数 (WBGT) に応じて屋外やエアコン等設置されていない屋内での運動は、原則、中止や延期をしましょう。

⑥ 暑さ指数 (WBGT) を確認しましょう



● 熱中症を予防するためには暑さを避けることが最も重要です。

● 不要不急の外出はできるだけ避けましょう。



早期注意情報（警報級の可能性）



大雨時に活用できる情報

5日先までに警報級の大雨等になる可能性があるかどうかを確認できる

〇〇県の天気予報（7日先まで）								
〇〇〇年08月03日13時 〇〇地方气象台 発表								
日付	今日 03日(水)	明日 04日(木)	明後日 05日(金)	06日(土)	07日(日)	08日(月)	09日(火)	10日(水)
〇〇県	雨 	雨後曇 	曇時々晴 	曇 	曇一時雨 	曇時々晴 	曇時々晴 	曇時々晴
降水確率(%)	-/-/90/70	70/60/50/10	30	40	50	30	30	30



雨マークがついている日が何日かあるけど、一体災害が起きそうな雨が降るのかどうか、これだけだと分からないな…

〇〇県〇〇の早期注意情報（警報級の可能性）									
〇〇〇年08月03日13時 〇〇地方气象台 発表									
〇〇では、4日までの期間内に、大雨警報を発表する可能性が高い。									
〇〇県〇〇	3日		4日			5日	6日	7日	8日
	12-18	18-24	00-06	06-12	12-24				
警報級の可能性	[高]	[中]	[中]						
大雨	1時間最大	50	40	40	30	25			
	3時間最大	70	60	60	45	35			
	24時間最大	50から100							



早期注意情報を確認すると、3日は警報が発表されるほどの雨になる可能性が高く、4日も可能性があることが確認できるんだね。7日は今のところそこの雨は予想されていないんだね。

※大雨以外にも「大雪」「暴風（暴風雪）」「波浪」「高潮」についても確認することができます。



[中]：可能性は高くありませんが、命に危険を及ぼすような警報級の現象となりうることを表しています。明日までの警報級の可能性が [中] とされているときは、深夜などの警報発表も想定して心構えを高めてください。

[高]：警報を発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況です。明日までの警報級の可能性が [高] とされているときは、危険度が高まる詳細な時間帯を気象警報・注意報等で確認してください。



具体的な気象の見通しや防災上の留意点等が確認できる

大雨と雷及び突風に関する栃木県気象情報 第1号
2023年09月04日13時00分 宇都宮地方気象台発表
<p>南部では、4日夕方まで低い土地の浸水に、4日夜のはじめ頃まで土砂災害、河川の増水や氾濫に嚴重に警戒してください。</p> <p>〔気象状況と予想〕 熱帯低気圧が、東海道沖を西へ進んでおり、5日にかけて日本の南を西へ進む見込みです。栃木県では、暖かく湿った空気が流れ込み大気の状態が非常に不安定となっているため、4日夕方にかけて非常に激しい雨の降る所があるでしょう。</p> <p>〔防災事項〕 南部では、土砂災害、浸水害、洪水の危険度が急激に高まっており、重大な災害がいつ発生してもおかしくない危険な状況となっています。 南部では、4日夕方まで低い土地の浸水に、4日夜のはじめ頃まで土砂災害、河川の増水や氾濫に嚴重に警戒してください。 栃木県では、落雷や竜巻などの激しい突風にも注意してください。発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には、建物内に移動するなど安全確保に努めてください。降ひょうのおそれもあるため、農作物の管理などにも注意してください。</p> <p>〔量的予想〕 <雨の予想> 4日に予想される1時間降水量は、いずれも多い所で、 北部 40ミリ 南部 70ミリ 4日12時から5日12時までに予想される24時間降水量は、いずれも多い所で、 北部 80ミリ 南部 150ミリ の見込みです。</p> <p>〔補足事項〕 今後発表する防災気象情報に留意してください。 また、土砂災害や浸水害及び洪水害の危険度に関しては「気象庁ホームページ」のキキクル（危険度分布）をご確認ください。 次の「大雨と雷及び突風に関する栃木県気象情報」は、4日17時頃に発表する予定です。</p>

どのような災害に警戒すべきかなどを記載しています。

今後どれくらいの雨が降るのかを記載しています。



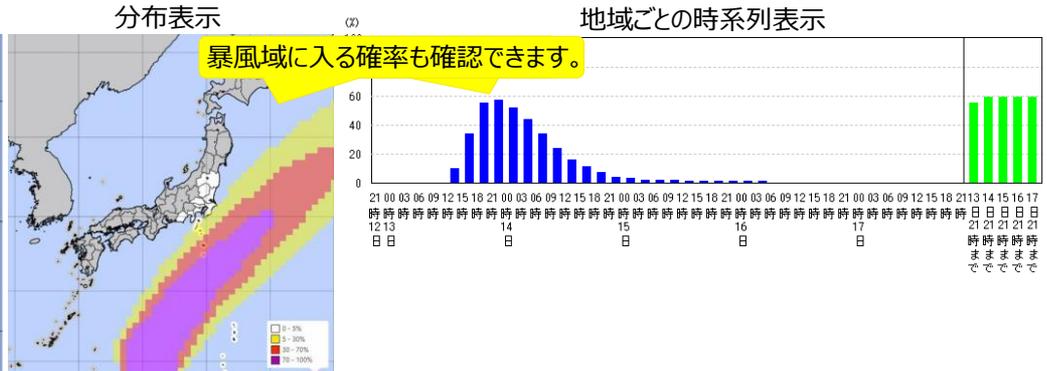
災害に結びつくような激しい現象が発生する可能性のあるときに発表します。

「全般気象情報」では全国に対する解説を、

「地方気象情報」は地方予報区（全国を11ブロックに分けた地域）に対する解説を、
「府県気象情報」では都道府県（北海道や沖縄県ではさらに細かい単位）に対する解説をご覧ください。



現在の台風の中心気圧、風速、5日先までの台風の進路や強さの予報が確認できる



台風の強さ

階級	最大風速
強い	33m/s以上～44m/s未満
非常に強い	44m/s以上～54m/s未満
猛烈な	54m/s以上

台風の大きさ

階級	風速15m/s以上の半径
大型	500km以上～800km未満
超大型	800km以上



「大型」は台風の大きさのことで台風の強さを表しているわけではないんだね。



台風が接近している地域の方は、早めに災害への備えを確認するなどしましょう。また、台風が接近する前から大雨となることもありますので、他の情報も合わせて確認してください。



警報・注意報（今後の推移）



大雨時に活用できる情報
(大雨災害から命を守るための情報)

発表中の警報や注意報等について、警報級の現象が予想される期間などが確認できる

〇〇市の警報・注意報（今後の推移）

〇〇〇〇年09月18日03時07分発表

〇〇市	18日								19日		備考・ 関連する現象
	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06		
大雨 (浸水)	25	25	60	80	80	80	80	70	40	浸水注意	
大雨 (土砂災害)										以後も警報級 土砂災害注意	
暴風	18 ◁	18 ◁	20 ◁	25 ▷	25 ▷	20 ▷	30 ▷	28 ▷	25 ▷	以後も警報級	
雷										以後も注意報級 竜巻	

1時間で最も多く降る
雨の量を表示しています。

風向・風速を表示しています。

- 大雨特別警報
 - 特別警報(大雨以外)・高潮警報・土砂災害警戒情報
 - 警報(高潮以外)・高潮注意報(*1)
 - 注意報(高潮以外)・高潮注意報(*2)
 - 予想期間外
- *1 高潮警報に切り替える可能性が高い
*2 上記以外の高潮注意報



これを見ると大雨（浸水）や土砂災害や昼過ぎから警報級
だけど、暴風は昼前から警報級の現象が予想されるようだ。
大雨（浸水）は明日の明け方には注意報級になるようだ。
雷・竜巻・ひょうは今日も明日も注意報級が続くようだ。



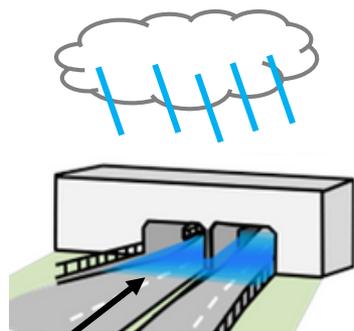
特に夜間から早朝にかけてどうなるか確認し、その時間帯に赤色になっている場合には、
暗くなる前に早めに避難するなど早めの行動が必要になってくる可能性があります。



短時間の大雨により浸水害が発生するおそれがあると予想したときに市町村単位で発表

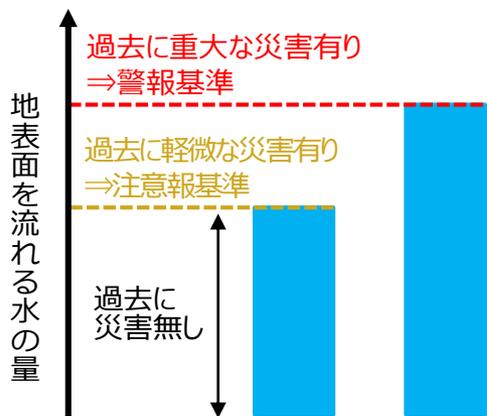
大雨警報（浸水害）・注意報の発表の仕組み

- ① 短時間の大雨によって
地表面にどれだけの水が
流れているかを計算

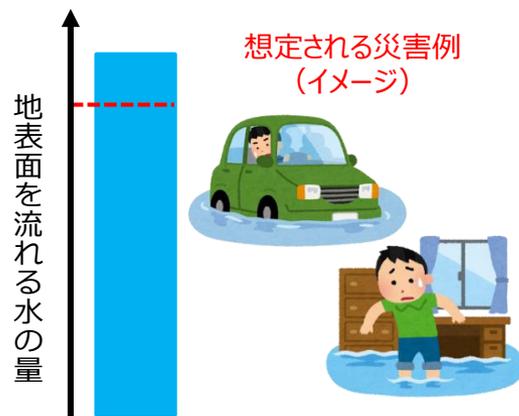


地表面を流れる水

- ② この量を、過去の浸水害時の値と比較し
浸水害が発生しうる値に基準を設定



- ③ 大雨の際にこの量を計算し、
基準値を超えると予想した
場合に発表



※この量は、実際に計測しているものではなく、降った雨の量などから計算しています。

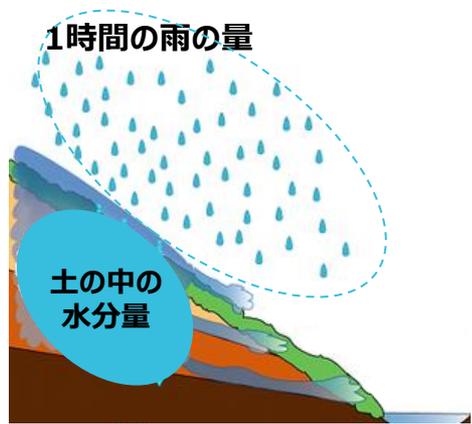


大雨注意報・警報(浸水害)は、過去の雨や災害の状況を踏まえ基準を設定していますので、この情報が発表されたときには浸水害が発生しうることを意味しています。



命に危険が及ぶような土砂災害が発生するおそれがあると予想したときに市町村単位で発表

土砂災害警戒情報の発表の仕組み



1時間の雨の量
と
土の中の水分量
から

※土の中の水分量は、実際に計測しているものではなく、降った雨の量などから計算しています。

土砂災害発生危険度を計算し、
基準を超える場合に発表



過去に土砂災害が発生したかどうかの状況と、そのときの雨や土の中に溜まった水分量を基に土砂災害が発生する可能性のある基準を設定しています。

土砂災害警戒情報と大雨警報（土砂災害）・大雨注意報の関係

土砂災害発生

避難に必要な時間を考慮して
基準を超える2時間程度前に発表

避難に時間がかかる方を考慮して
土砂災害警戒情報よりも1時間程度早く
発表できるよう基準を設定

大雨警報(土砂災害)よりもさらに
1時間程度早く発表できるよう
基準を設定



※土砂災害警戒情報は都道府県と気象庁が共同で発表



土砂災害警戒情報や大雨警報（土砂災害）は避難にかかる時間を考慮して発表しています。また、土砂災害警戒情報は、過去の雨や災害の状況を踏まえ基準を設定していますので、この情報が発表されたときには命に危険が及ぶような土砂災害が発生しうることを意味しています。



あらかじめ指定した河川について、水位または流量を示した予報を区間ごとに発表

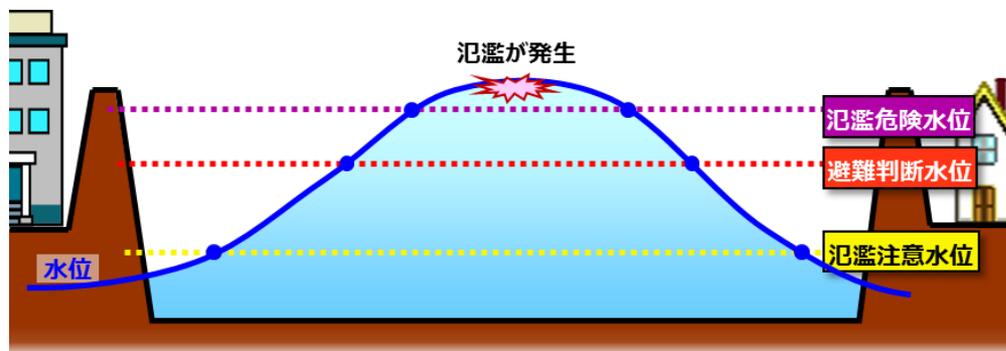
指定河川洪水予報の発表の仕組み

①洪水によって、重大又は相当の被害が生じるおそれのある河川をあらかじめ指定

重大な被害が生じるおそれのある河川の例
(イメージ)



②区間ごとに情報を発表する基準となる水位を設定



③現在の河川の水位や今後の予測等に応じて以下の情報を発表 ※指定河川洪水予報は国土交通省または都道府県と気象庁が共同で発表

情報の種類	情報が発表される状況
氾濫発生情報 【警戒レベル5相当】	河川が氾濫し、その氾濫水への警戒が必要な状況
氾濫危険情報 【警戒レベル4相当】	いつ氾濫してもおかしくない状況 氾濫が発生した際などに備え避難等が必要な状況 ※まもなく氾濫危険水位を超え、さらに水位上昇が見込まれる場合、あるいは氾濫危険水位に到達した場合
氾濫警戒情報 【警戒レベル3相当】	氾濫が発生した際などに備え避難準備などを始める状況 ※氾濫危険水位に到達が見込まれる場合、あるいは避難判断水位に到達し、さらに水位上昇が見込まれる場合
氾濫注意情報 【警戒レベル2相当】	氾濫の発生に対する注意が必要な状況 ※氾濫注意水位に到達し、さらに水位上昇が見込まれる場合



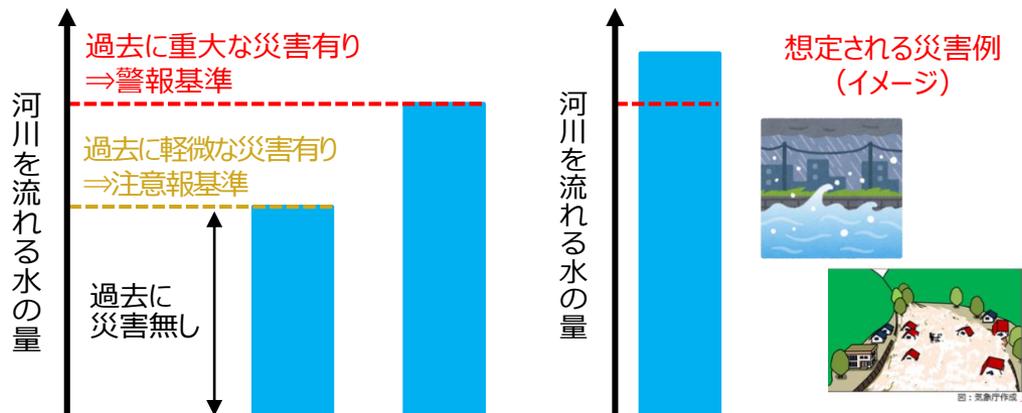
指定河川洪水予報は、水位または流量の予測を行い、その結果も踏まえ情報を発表しています。
「氾濫危険情報」が発表されたときはいつ氾濫してもおかしくない状況です。



河川の上流域での大雨により洪水災害が発生するおそれがあると予想したときに市町村単位で発表

洪水警報・注意報の発表の仕組み (洪水予報河川を除く)

- ①河川の上流域の雨が河川に流れ出て、下流へと移動する量を計算
- ②この量を、過去の洪水災害時の値と比較し、洪水災害が発生しうる値に基準を設定
- ③大雨の際にこの量を計算し、基準値を超えると予想した場合に発表



※河川の上流域の雨が河川に流れ出て、下流へと移動する量は、実際に計測しているものではなく、降った雨の量などから計算しています。
 ※洪水予報河川においては、当該河川に関連のある市町村に対して、氾濫警戒情報以上を発表した場合には洪水警報を、氾濫注意情報を発表した場合には洪水注意報を発表します。



洪水注意報・警報は、過去の雨や災害の状況を踏まえ基準を設定していますので、この情報が発表されたときには洪水災害が発生しうることを意味しています。

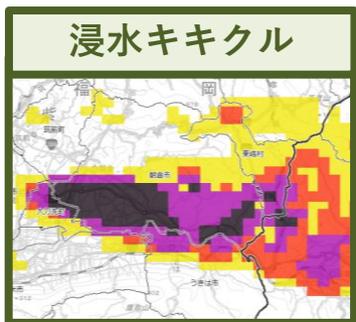
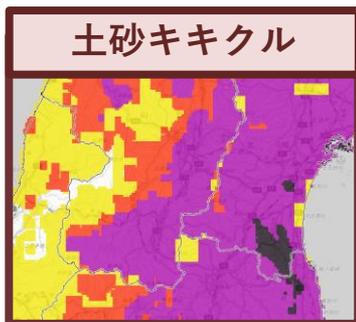


キキクル（危険度分布）



大雨時に活用できる情報
(大雨災害から命を守るための情報)

雨による土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度を5段階の色分け表示でリアルタイムで確認できる



※1kmメッシュ単位で表示（洪水キキクルは河川の形状に沿って表示）



災害切迫

危険

警戒

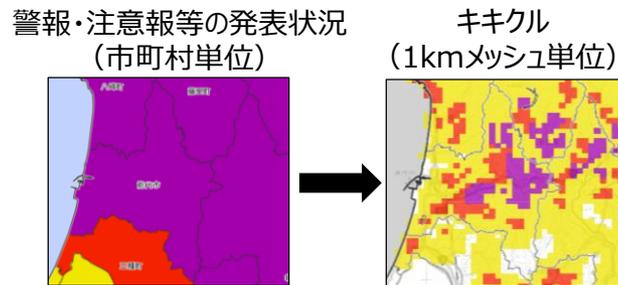
注意

特別警報と対応
※特別警報の発表は格子数や今後の雨の降り方を考慮

土砂災害警戒情報と対応
浸水と洪水は警報基準を大きく超過した基準

警報と対応

注意報と対応



「黒」の領域では警戒レベル5に相当し、命の危険が迫っている状況です。遅くとも「紫」が出現した時点で、速やかに避難の判断をすることが重要です。

危険



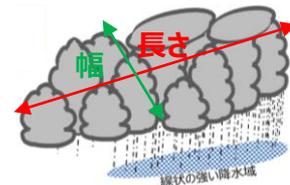
「注意報や警報」は市町村単位で発表されるけど、キキクルを見ると実際に市町村内のどこで危険度が高まっているか確認できるんだね。



線状降水帯による大雨の可能性があると実際に線状降水帯が発生した場合に発表

線状降水帯とは

次々と発生する発達した雨雲が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水をとまなう雨域を線状降水帯といいます。



線状降水帯による大雨の可能性がある場合

線状降水帯による大雨の可能性が高い場合に、「気象情報」において半日程度前から府県単位を基本に線状降水帯というキーワードを用いて呼びかけます。

大雨に関する〇〇地方気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇時〇分 〇〇気象台発表

〇〇県、〇〇県では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。

… (中略) …

[量的予想]

<雨の予想>

〇日〇時から〇日〇時までに予想される24時間降雨量は、いずれも多い所で、

〇〇県 〇ミリ

〇〇県 〇ミリ

〇〇県 〇ミリ

〇〇県 〇ミリ

の見込みです。

線状降水帯が発生した場合は、局地的にさらに雨量が増えるおそれがあります。

… (中略) …

※北海道や沖縄県では、府県予報区単位で発表します。鹿児島県では奄美地方を、東京都では伊豆諸島と小笠原諸島を区別して発表します。

実際に線状降水帯が発生した場合

大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で実際に降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説します。

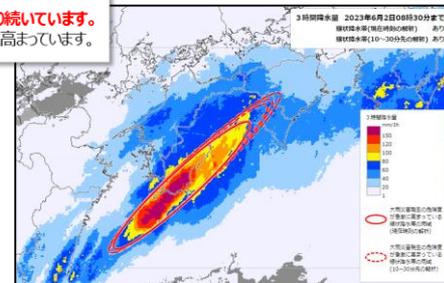
顕著な大雨に関する〇〇県気象情報 第1号
令和3年〇月〇日〇時〇分 〇〇気象台発表

(見出し)

〇〇県では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続けています。

命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。

「雨雲の動き」、「今後の雨」(1時間雨量又は3時間雨量)において、大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域を赤い楕円で表示しています。



線状降水帯による大雨の可能性があると発表された場合には、大雨災害に対する危機感を早めにもっていただき、ハザードマップや避難所・避難経路の確認等を行っていただくことが考えられます。実際に線状降水帯が発生したと発表があった場合には、災害発生の危険度が高まっている場所の詳細をキキクルや水位情報等で確認し、少しでも危険を感じた場合には、自ら安全な場所へ移動する判断が重要です。

大雨警報の発表基準をはるかに超える大雨が予想され、 重大な浸水害や土砂災害の起こるおそれが著しく大きい場合に市町村単位で発表

<過去に大雨特別警報を発表した豪雨災害（一例）>



気象台職員撮影
(福岡県朝倉市)

平成29年7月九州北部豪雨

九州北部地方を中心に土砂災害や河川の氾濫、
浸水害等が相次ぎ、死者42名、行方不明者2名
の人的被害が発生。

(出典：【災害時気象報告】令和元年東日本台風等による10月10日から10月26
日にかけての大雨・暴風等)



武雄市提供
(佐賀県武雄市)

令和3年8月11日からの前線による大雨

西日本から東日本にかけて前線が停滞し広い範囲で
大雨となり、土砂災害、河川の氾濫、浸水等が発生。佐賀
県では1,300棟を超える住家の全半壊、床上浸水が発生。

(出典：【災害時気象報告】台風及び停滞前線による令和3年8月7日から8月23
日にかけての暴風及び大雨等)



気象台職員撮影
(新潟県関川村)

令和4年8月の前線による大雨

北日本や北陸地方を中心に土砂災害、河川の氾濫、
浸水害等が発生

(出典：【災害時気象報告】前線による令和4年8月1日から8月6日にかけての大雨等)

大雨特別警報が発表された場合には、すでに上記のような災害が発生している可能性が極めて高いため、次のような行動をとる必要があります。

① 土砂災害警戒区域や浸水想定区域など、災害の危険性が認められている場所からまだ避難ができていない場合には直ちに命を守る行動をとる。

※指定された避難場所への避難がかえって危険な場合には、少しでも崖などからは晴れた建物や浸水しにくい高い場所へ移動するなど。

② 災害が起きないと思われるような場所においても災害の危険度が高まる異常事態であるため身の安全を確保する。

大雨特別警報が発表されてから避難するのでは手遅れとなりますので、大雨特別警報の発表を待つことなく、地元市町村からすでに発令されている避難情報に直ちに従い、身の安全を確保してください。





雨の強さと降り方

1時間雨量 (mm)	雨の強さ (予報用語)	人を受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10~20	やや強い雨	ザーザーと降る。	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。 	雨の音で話し声が良く聞き取れない。 	地面一面に水たまりができる。 	
20~30	強い雨	どしゃ降り。	傘をさしていてもぬれる。 			ワイパーを速くしても見づらい。
30~50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。		覆っている人の半数くらいに雨がたつく。 	道路が川のようになる。 	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。(ハイドロプレーニング現象)
50~80	非常に激しい雨	滝のように降る。(ローゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる。 		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。 	車の運転は危険。
80~	猛烈な雨	豪雨になるような圧迫感がある。恐怖を感じる。				

風の強さと吹き方

平均風速 (m/s) おおよその吹き方	風の強さ (予報用語)	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	おおよその瞬間風速 (m/s)
10~15 ~約50km/h	やや強い風	一般道路の自動車	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。 	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。 	道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では機風に流される感覚を受ける。 	横(と)いが揺れ始める。 	20
15~20 ~約70km/h	強い風		風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。 	電線が鳴り始める。看板やトタン板が外れ始める。 	高速運転中では、機風に流される感覚が大きくなる。 	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。戸戸やシャッターが揺れる。 	30
20~25 ~約90km/h	非常に強い風	高速道路の自動車	何かにつかまっていようと立っていられない。飛来物によって危害するおそれがある。 	細い木の幹が折れたり、根の揺っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が壊れる。 		屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動・転倒する。二輪がバスのフィルム(補修材)が広範囲に破れる。 	40
30~35 ~約110km/h						固定の十分な金属屋根の葺材がめくられる。養生の十分な仮設足場が脱落する。 	50
35~40 ~約125km/h	猛烈な風	特急電車	屋外での行動は極めて危険。 		走行中のトラックが横転する。 	外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。 	60
40~ ~約140km/h				多くの樹木が倒れる。電柱や街灯が倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。 		住家で倒壊するものがある。鉄骨建造物で変形するものがある。 	



雨や風の強さを表す用語にはこの表のとおり定義があります。この表を見ることで、「非常に激しい雨」や「猛烈な風」などの言葉から、身近で起きうる被害などを想像することができます。